



7月13日(水)

2022年(令和4年)

発行所:東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321

毎日新聞東京本社



自分で描く未来

事業活動を通じて社会課題の解決に取り組む「LIFULL」の井上高志社長が「#地球塾2050」で講演しました。参加した東京都千代田区立麹町中学校の1〜3年生20人に「自分たちの手で求める未来を作ることができる」と呼びかけました。

世界を作る一員に

私は、井上社長が語った「未来は予想するものじゃない。作るものだ」という言葉に心を打たれた。井上社長は、誰もが生活しやすい未来を作っていくために、「世界平和と人類の幸福」という目標を掲げている。世界の人々を幸せにするのは、とても難しいことだ。けれども、井上社長のように取り組まなければ、この課題を解決することは難しい。

私は今回、井上社長のお話を聞いて、難しいことで



も挑戦しないと何も変わらないと思った。この現実を変えるために、私も役に立つような仕事をしたい。

(保立美蘭)

実行するのみ

井上社長は利益だけでなく「人を笑顔にすること」に喜びを感じ、その思いを大切にするためにLIFULLを設立した。

私も人を喜ばせたいと思った経験がある。小学6年生の時、私は放送委員で、給食中の放送でクイズを担当した。しかし、その年は盛り上がりすぎて飛沫が飛ぶことを懸念して、先生が音楽を流すことに決めた。私達はコロナ禍だからこそ給食を楽しんでもらうために面白い企画を提案したが、先生には理由なく断られてしまった。もし井上社長だったら、自分が考える人を笑顔にする方法を実行してい

たと思う。この時は諦めてしまったが、次こそは仕事で人を笑顔にできるように諦めずに実現したいと思う。

(能登咲月)

井上社長とぼくの共通点

井上社長は、笑顔を見ると元気が出ると話していた。世界を平和にしたいという目標がある。僕にも共感できる場所がある。



僕はラップ音楽が好きだ。ラップを聞いたり口ずさんだりすると、嫌な事を忘れて楽しく幸せな気持ちになれる。

そこから、世界平和と人類の幸福を実現するために提案を考えた。

「Happy Music 自動作成機」

この機械の前に人が立つと全身をスキャンし、頭髪、眼球、肌、体温、心拍数だけでなく、その人の趣向も読み取りAI(人口知能)によってその人がHa

ppyになるワードや曲調を取り入れたオリジナル音楽を作ってくれる。その音楽を聴けば、「喧嘩や争いをしたくなる!」という考えがぶっ飛んでしまう。そんな人たちに、この機械で音楽を作ってあげると、世界が平和にそして笑顔が増えていくと思った。

(杉山陽七大)

私という存在

あなたは、誰かの笑顔や言葉、存在が原動力になったことがあるだろうか? 私は、小学5年生の時にリレーで応援してもらい、すごく頑張ろうと思えたり、チーム全員がゴールした時には、やり切ったと感じた。

井上社長が起業のきっかけの話を読んだとき、「(とある)夫婦の笑顔、感謝が原動力となった」という話を聞いた。数年前の自分と重なり、とても感動した。いつか仕事をするときに、誰かの役に立つのはもちろんだが、「強制」や「楽しくない」なんて思うことがないよう、自分が好きな、楽しめる事をしたと思う。また、誰かが何かをする時の原動力になればいいと思った。

(杉崎智里)